

千葉県市川健康福祉センター発 いちうら感染症情報

「2023 - 7月①」 定期号

2023年7月13日配信

平素より保健福祉行政にご協力いただきありがとうございます。

内容について、医療機関向け情報には(医)を、一般施設向け情報には(一)をつけております。

ご覧いただく際にご参考にしていただければ幸いです。

7月号第1回目の配信となります。原則毎月第2・4木曜日に配信し、新たな通知や感染症情報等がある場合、随時臨時号を配信していきます。

1

(医)・(一)

全数報告感染症情報

※市川保健所管内の直近5週分の感染症発生動向状況については、メールに添付しておりますのでご確認ください（「2023.23週～27週」.pdf）。

●管内の状況（報告のあった疾患のみ掲載しています）

2023年第25週・第26週・第27週

二類感染症	3週分	累計（年）
結核	9	40
三類感染症	3週分	累計（年）
細菌性赤痢	1	1

五類感染症	3週分	累計（年）
梅毒	1	13
侵袭性インフルエンザ菌感染症	1	2
百日咳	2	2

四類感染症	3週分	累計（年）
E型肝炎	1	3

2

(医)・(一)

発生動向トピックス

●夏季休暇に海外渡航される皆さまへ！渡航先の感染症に注意しましょう。

海外では、日本にはない病気がたくさんあります。海外旅行では、時差や機構の違いなどから、（自覚していなくても）様々なストレスを受けます。その結果、免疫力が低下し、病気にかかりやすくなってしまいます。一生治療を続けなければならぬ病もありますので、無理のないスケジュールを心がけ、避けられる危険を避け、楽しい旅行にしましょう。



渡航前の準備

- ・自分が受けた予防接種について、母子手帳などで確認しましょう。
- ・渡航先で流行している感染症について、厚労省のホームページなどで確認をしておきましょう。

※海外渡航に際し推奨されている予防接種で、まだ受けていないものがあれば時間的な余裕をもって予防接種の相談をするなど、適切な感染予防を心がけましょう。

- ・渡航先の医療機関について確認しておきましょう。



旅行中の注意事項

- ・生水・氷・カットフルーツを食べることは避けましょう。
- ・食事は十分に火のついたものを食べましょう。
- ・蚊やダニに刺されないように、服装に注意し、必要があれば虫よけ剤を使用しましょう。

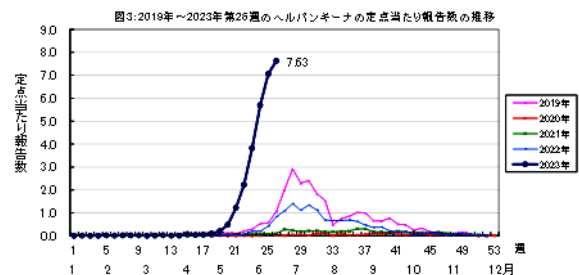
もし、帰国時に体調が悪くなったり、具合が悪かったり、渡航先での出来事に健康上の心配事がありましたら、空港や港に設置されている検疫所に相談しましょう。帰宅後に具合が悪くなった場合は、医療機関を受診し、渡航先、滞在期間、現地での飲食状況、渡航先での活動内容、動物と接触の有無、ワクチン接種などについて、必ず伝えてください。

その他、帰国後に不安があれば保健所へ問い合わせてください。詳細の内容につきましては、下記のホームページをご覧ください。

厚労省:海外へ渡航される皆さまへ! https://www.forth.go.jp/news/20220722_00001.html

●ヘルパンギーナ流行警報が、6月28日に千葉県から発令されました。

2023年第26週の県内の小児科定点医療機関から報告された定点当たりの報告数は、7.63(人)でした。市川保健所管内でも6.27(人)と警報レベルとなりました。特に、県内で報告数が多かった地域は、船橋市11.5(人)、海匝10.5(人)、千葉市10.0(人)です。



ヘルパンギーナとは、発熱と口腔粘膜にあらわれる水泡性の発疹を特徴とした夏季に流行する小児の急性ウイルス性咽頭炎であり、いわゆる夏かぜの代表的疾患です。感染予防として、**アルコール消毒よりも手洗いが重要**です。特に**排便後・排泄物の処理後の流水と石けんによる手洗いを徹底してください。**

■引用・参考

千葉県:ヘルパンギーナの流行について <https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/press/2023/herupangina-keihou.html>

国立感染症研究所:ヘルパンギーナとは <https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/515-herpangina.html>

●レジオネラ症の報告数が例年多くなる傾向にあるため、感染対策を行いましょう。

レジオネラ症は、レジオネラ属菌による細菌感染症であり、主な病型として重症の肺炎を引き起こすレジオネラ肺炎と、一過性で自然に改善するポンティアック熱があります。レジオネラ属菌は、土壌や水環境に広く存在する菌であり、人工的にエアロゾルを発生させる機器や循環水を利用した風呂を感染源とするエアロゾル感染、汚染された土壌の粉塵を吸い込んだことによる粉塵感染の他、温泉利用による感染なども報告されています。

症状発熱・寒気・呼吸困難・筋肉痛、意識レベルの低下、幻覚、下痢等

感染対策

- ・増殖させない(浴槽水の換水及び消毒を徹底しましょう)
- ・発生させない(バイオフィルムを発生させないように清掃・消毒を徹底しましょう)

- ・吸い込ませない（エアロゾルを形成しやすく、かつ肺に吸引する機会が多い、循環式浴槽、打たせ湯、シャワーなどについては特に注意しましょう）



■引用・参考

厚労省:レジオネラ症 https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_00393.html

千葉県:レジオネラ症とその予防対策 <https://www.pref.chiba.lg.jp/eishi/koushuueisei/shisetsu/rejionera.html>

●梅毒の届出数が、感染症サーベイランス開始以降、最も多くなっています。

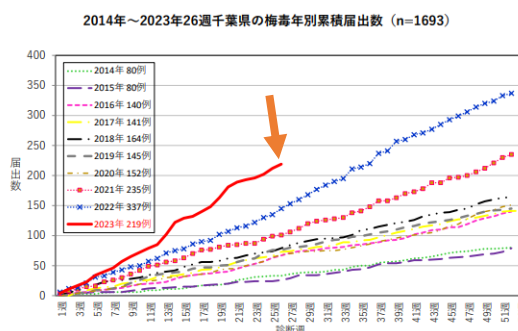
1999年の現行感染症サーベイランス開始以降、2022年が最も多い337例の届出がありました。本年はそれを上回る速度で患者が報告されています。2023年26週までの累計は、219例です。

市川保健所では、R5年4月よりHIV検査を開始しており、県でも休日街頭検査を実施中です。（次回は、8月26日(土)浦安市内です。）

検査を受ける機会のご参考にしてください。

■参考

千葉県:梅毒発生状況 <https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/documents/202326syphilis.pdf>



🎀 次回の検査実施予定日 🎀

検査実施日：8月3日 13:30～

（予約開始日は、7月24日 9時～）

検査内容：HIV、梅毒、クラミジア、淋菌、B型肝炎、C型肝炎

問い合わせ・予約方法：市川保健所疾病対策課 電話にて要予約

* 検査実施に関する詳細、他日程につきましては、ホームページをご覧ください。

市川保健所 HIV抗体検査・肝炎ウイルス検査のご案内 <https://www.pref.chiba.lg.jp/kf-ichikawa/kenkousoudan/hiv.html>

千葉県:休日街頭HIV検査 <https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/kansenshou/kyuujitu.html>



●6月23日付けで、「オズウイルスによる心筋炎と診断された患者の報告について」厚労省より情報提供がありました。

2022年初夏に茨城県でオズウイルスによる心筋炎と診断され、世界初の死亡例となったと報告されています。オズウイルスは、ウイルスを保有するマダニに吸われることにより感染する可能性が考えられていますが、感染ルートに関する十分な知見は得られていません。いちうら感染症6月号①でも配信いたしました。夏から秋まではマダニを媒介とした感染症が発生しやすい時期です。レジャーや農作業で森林や草むら、藪に入る場合には注意しましょう。

今回の情報提供に関する詳細の内容につきましては、下記のホームページをご覧ください。

厚労省:オズウイルスによる心筋炎と診断された患者の報告について

<https://www.mhlw.go.jp/content/10906000/001112348.pdf>

NIID:IASR 初めて診断されたオズウイルス感染症患者 <https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/a/ozv/2630-idsc/iasr-news/12108-521p01.html>

NIID:オズウイルス感染症とは <https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/12113-ozv.html>

NIID:オズウイルス感染症に関するQ&A <https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/a/ozv/2629-cepr/12091-ozvqa.html>

●2023年6月に急性脳炎の報告数が、2019年以降冬季を除いて最も多い報告数となっています。

2023年6月に14例が診断され、2023年の累計は34例となりました。発生届における病原体の記載としては、ヒトパレコウイルスが6例(18%)、インフルエンザウイルスAが5例(15%)、SARS-CoV-2が2例(6%)、単純ヘルペスウイルスが2例(6%)、水痘帯状疱疹ウイルスが1例(3%)、その他が18例(53%)となっています。**ヒトパレコウイルスと報告のあった6例全例が生後3か月未満の乳児でした。**

ヒトパレコウイルス3型は、夏季を中心に流行し、生後3か月未満の乳児の敗血症や脳炎の原因となり重症化することがあるという報告があります。

典型的な臨床所見は、高熱、高度な頻脈、活気不良、哺乳不良などを呈する。四肢を中心に網状チアノーゼが出現し、腹部膨満や臍突出、発疹を伴い、手掌や足が紅潮する所見も特徴的です。

感染経路は家族からの伝播が多く、特に感冒症状や筋肉痛のある家族との接触によるものが多いとされていますが、不明であることも多いです。新生児や早期乳児のいる家庭では、感冒症状のある家族のマスク着用と、手洗いを中心として手指衛生が重要となります。

3



感染性胃腸炎

●感染性胃腸炎の報告数は、横ばいとなっていますが例年より多い状況です。

第26週の県全体の定点当たり報告数は、前週(2023年の第25週)の6.08(人)から横ばいで、6.07(人)となりました(図1)。報告が多かった地域は、保健所管内別で千葉市12.9(人)、香取10.7(人)、市原8.6(人)となりました(図2)。

図1

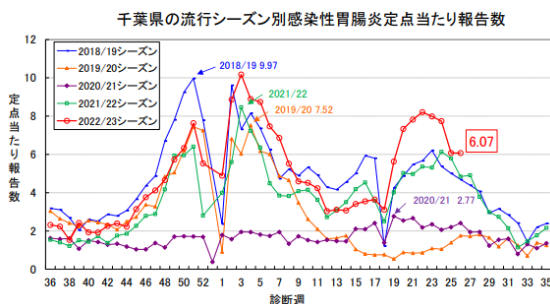
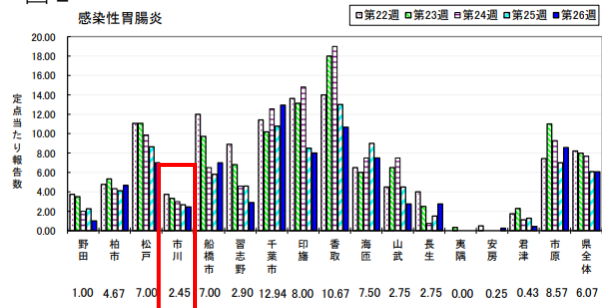


図2



市川保健所管内においても、保育所等において集団発生事案の報告が引き続きあがっています。感染性胃腸炎の予防策は、**こまめな手洗い・消毒、ペーパータオルを使用すること**です。**吐物や糞便の付着箇所は、適切な範囲(嘔吐では、嘔吐中心部より半径2m)への0.1%の次亜塩素酸ナトリウムによる消毒**が必要です。引き続き感染対策をしましょう。

引用・参考

千葉県:感染性胃腸炎発生状況 <https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/documents/202323infectiousgastroenteritis.pdf>

千葉県:消毒液の作り方 <https://www.pref.chiba.lg.jp/kenzu/hokenshi/saigai/documents/10syoudoku.docx>

千葉県:吐物の処理 <https://www.pref.chiba.lg.jp/kenzu/hokenshi/saigai/documents/11tobutu.pdf>

- 定点報告数(下図)は 2023 年第 25 週・第 26 週・第 27 週における定点各医療機関からのインフルエンザ報告数をまとめたものです。

<市川保健所管内インフルエンザ発生状況>

(人)

	A型	B型	A+B型	AorB型※	臨床診断
報告数	30	0	1	0	2

※型非鑑別キット

(医療機関からの型報告なく不明な33例を除く)



- インフルエンザ報告数は、今シーズン初めて定点あたり 1.0(人)以下で横ばいになりました。

第 26 週の県全体のインフルエンザ定点あたり報告数は、前週 (2023 年第 25 週) の 0.76 (人) から横ばいで、0.78 (人) となりました (図 1)。報告数が多かった地域は保健所管内別では、長生 1.4(人)、市川 1.3 (人)、千葉市 1.1(人)となりました (図 2)。

図 1

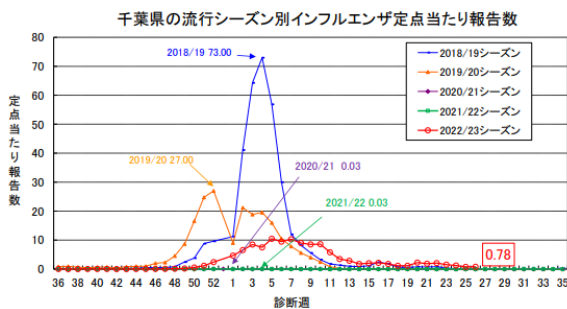
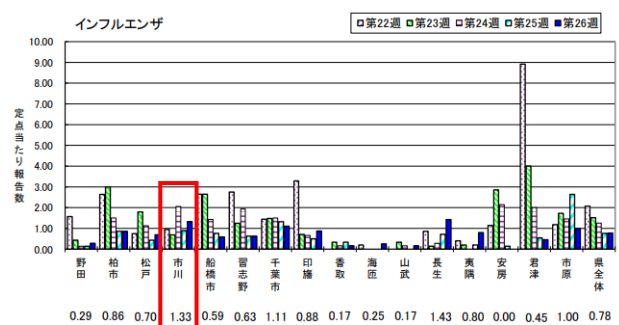


図 2



2023 年第 26 週に県内で報告のあった 132 例のうち、A 型 119 例 (90%)、B 型 2 例 (2%)、型非鑑別キットで陽性 11 例 (8%) であり、依然として A 型が多くなっています。前年より取り上げていましたインフルエンザ感染症の情報につきまして、今回の 7 月号 1 回目を持ちまして一旦終了とさせていただきます。また、流行期になりましたら情報配信をさせていただきます。

千葉県:インフルエンザ情報 <https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/documents/202326influenza.pdf>

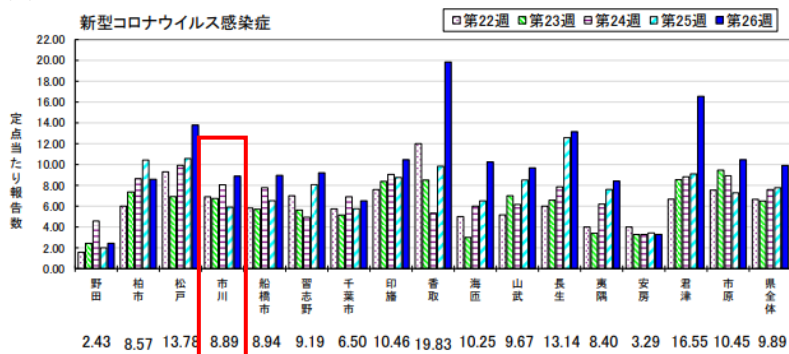
「インフルエンザから身を守ろう」千葉県健康福祉部疾病対策課ホームページ

<http://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/influenza/influenza-yobou.html>

- 定点医療機関による感染者数の報告は増加傾向です。引き続き感染対策を！

第 26 週の県全体の定点あたり報告数は前週(2023 年第 25 週)の 7.77(人)から増加して、9.89(人)でした。報告数が多かった地域は、保健所管内別で香取 19.8(人)、君津 16.5(人)、松戸 13.8(人)となりました。市川管内の報告数も、前週から増加して 8.89(人)となっています。(図 1)

図 1



千葉県:新型コロナ感染者の発生状況 <https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/documents/202326covid-19.pdf>

国立感染症研究所:新型コロナウイルス感染症サーベイランス速報・週報:発生動向の状況把握

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/2019-ncov/2484-idsc/12015-covid19-surveillance-report.html>

リーフレット「令和5年度 新型コロナワクチン接種についてのお知らせ」 <https://www.mhlw.go.jp/content/001068244.pdf>

厚労省:新型コロナウイルス感染症 一般向け Q&A

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/dengue_fever_qa_00001.html

厚労省:新型コロナウイルス感染症への対応について(医療機関向けのリーフレット)

【第1報】治療・院内感染対策等 <https://www.mhlw.go.jp/content/001084071.pdf>

【第2報】応招義務の考え方・オンライン診療等 <https://www.mhlw.go.jp/content/001088182.pdf>

【第3報】設備整備等への支援措置 <https://www.mhlw.go.jp/content/001101062.pdf>

最後に

- ・登録アドレスの廃止、変更等は下記アドレスまでご連絡をお願いします。
- ・いちうら感染症情報は、毎月第2・4木曜日を配信予定としていますが、事情により配信が遅れる場合があることをご了解ください。
- ・いちうら感染症情報の内容は主に公的機関の情報を基に作成し、できる限り最新で正確な情報発信に努めておりますが、各登録機関の責任においてご利用ください。
- ・また、メールの安全性についても千葉県の情報セキュリティ対策により安全性の確保を図っておりますが、各登録機関におかれましてもセキュリティ等の注意をお願いいたします。

【配信元】

千葉県市川健康福祉センター（市川保健所）

いちうら感染症情報

ichiurainf@pref.chiba.lg.jp

